

銀歯、金歯、セラミックの違いについて

現在の歯科治療で使われる材料には大きく分けて、いわゆる「銀歯」、「金歯」、「セラミック」があります。それぞれ被せたり詰めたり、または連結してブリッジとして使われております。

セラミックは天然歯に近い透明感のある審美性が特徴で、口を開けたときに治療跡が目立たずに済むうえに、ナチュラルな美しい口元に近づけることができます。色も周りの歯に合わせて作成するのでオールセラミックの歯は一見して天然歯とほとんど見分けが付きません。生体への親和性が高く、金属アレルギーの方も安心して治療できることも大きな利点です。

セラミック治療には様々な種類があります。「ラミネートベニヤ」「メタルボンドクラウン」「オールセラミッククラウン」「セラミックインレー」等の治療方法が一般的です。それぞれかみ合わせ等を考慮して治療しています。

銀歯はわが国においては昔から健康保険に適用されているので一般的によく知られた材料です。強度が高いため割れたりする心配がほとんど有りません。ただし近年は見た目を重視する方には敬遠されることもあります。

また貴金属ではなく非貴金属が使われている場合は金属アレルギーがある方は注意が必要です。金歯は主に奥歯の治療に使われてきました。金は生体親和性が高いためアレルギーの方でも比較的安心して使えます。ただし純金では強度が出ないので、その他の金属も混ぜて合金として使うので、その点は注意が必要です。また近年は銀歯同様見た目を気にされる方からは敬遠されることもあります。

それぞれ長所・短所があり、費用なども変わってくるのでかかりつけの歯科医とよく相談して治療を受けて下さい。

(一社) 北足立歯科医師会

